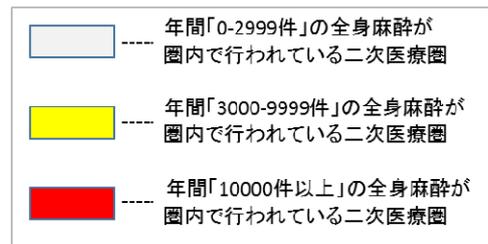
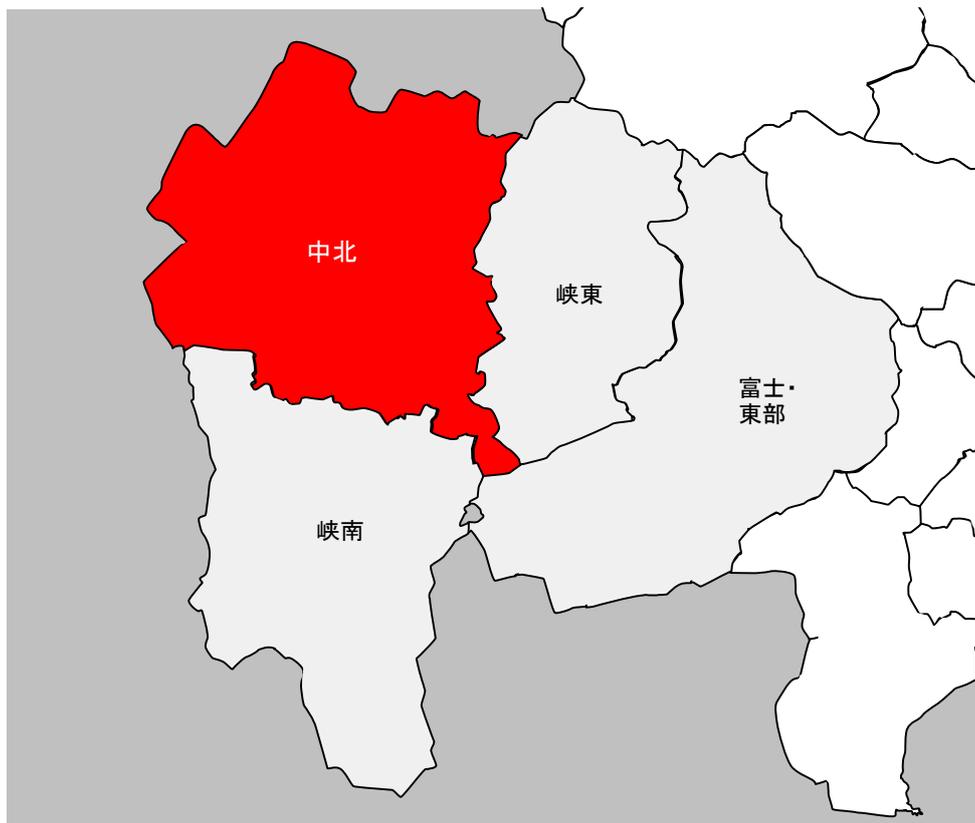


19. 山梨県



目次

山梨県	19	-	3
1. 中北医療圏	19	-	9
2. 峡東医療圏	19	-	15
3. 峡南医療圏	19	-	21
4. 富士・東部医療圏	19	-	27

山梨県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は45,287人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は409人(27%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は230人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

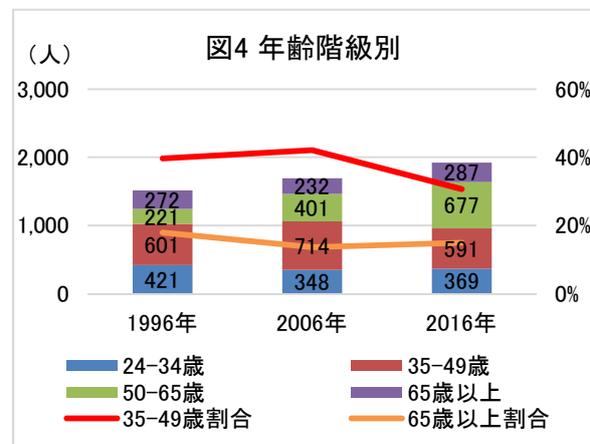
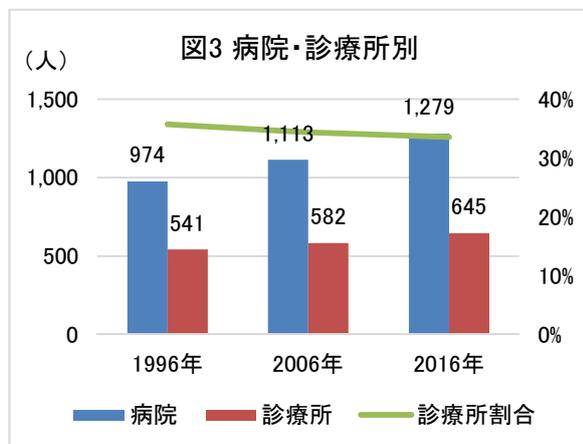
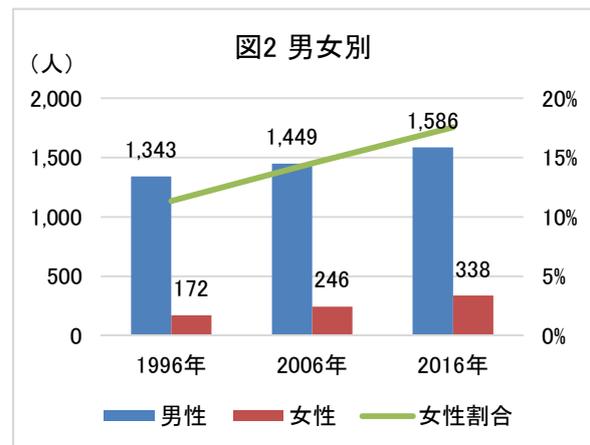
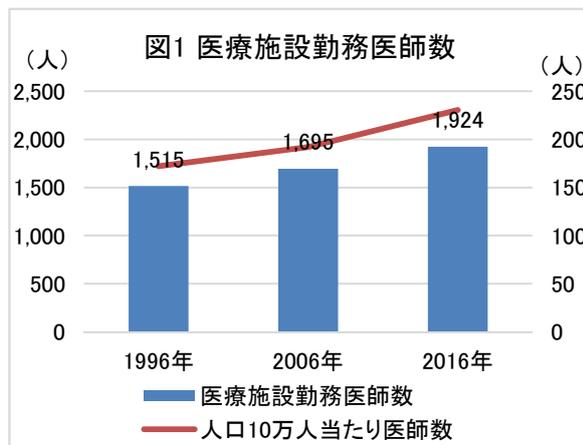
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて243人(18%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に166人(97%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて305人(31%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に104人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(-2%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(6%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

山梨県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	880,217	882,994	834,930	-45,287	-5%	2,777	0%	-48,064	-5%	
総医師数	1,574	1,752	1,990	416	26%	178	11%	238	14%	
人口10万対	178.8	198.4	238.3	59.5	33%	19.6	11%	39.9	20%	
医療施設勤務医師数	1,515	1,695	1,924	409	27%	180	12%	229	14%	
人口10万対	172.1	192.0	230.4	58.3	34%	19.8	12%	38.5	20%	
男性医師数	1,343	1,449	1,586	243	18%	106	8%	137	9%	
人口10万対	152.6	164.1	190.0	37.4	24%	11.5	8%	25.9	16%	
女性医師数	172	246	338	166	97%	74	43%	92	37%	
人口10万対	19.5	27.9	40.5	20.9	107%	8.3	43%	12.6	45%	
病院勤務医師数	974	1,113	1,279	305	31%	139	14%	166	15%	
人口10万対	110.7	126.0	153.2	42.5	38%	15.4	14%	27.1	22%	
診療所勤務医師数	541	582	645	104	19%	41	8%	63	11%	
人口10万対	61.5	65.9	77.3	15.8	26%	4.4	7%	11.3	17%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.3	47.7	49.9	3.6	8%	1.4	3%	2.2	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	421	348	369	-52	-12%	-73	-17%	21	6%
	35-49歳	601	714	591	-10	-2%	113	19%	-123	-17%
	50-64歳	221	401	677	456	206%	180	81%	276	69%
	65歳以上	272	232	287	15	6%	-40	-15%	55	24%
	75歳以上(再掲)	82	122	98	16	20%	40	49%	-24	-20%
男性	24-34歳	352	250	258	-94	-27%	-102	-29%	8	3%
	35-49歳	542	619	468	-74	-14%	77	14%	-151	-24%
	50-64歳	209	363	595	386	185%	154	74%	232	64%
	65歳以上	240	217	265	25	10%	-23	-10%	48	22%
	75歳以上(再掲)	69	110	92	23	33%	41	59%	-18	-16%
女性	24-34歳	69	98	111	42	61%	29	42%	13	13%
	35-49歳	59	95	123	64	108%	36	61%	28	29%
	50-64歳	12	38	82	70	583%	26	217%	44	116%
	65歳以上	32	15	22	-10	-31%	-17	-53%	7	47%
	75歳以上(再掲)	13	12	6	-7	-54%	-1	-8%	-6	-50%
病院	24-34歳	402	334	366	-36	-9%	-68	-17%	32	10%
	35-49歳	413	542	470	57	14%	129	31%	-72	-13%
	50-64歳	100	176	346	246	246%	76	76%	170	97%
	65歳以上	59	61	97	38	64%	2	3%	36	59%
	75歳以上(再掲)	19	21	28	9	47%	2	11%	7	33%
診療所	24-34歳	19	14	3	-16	-84%	-5	-26%	-11	-79%
	35-49歳	188	172	121	-67	-36%	-16	-9%	-51	-30%
	50-64歳	121	225	331	210	174%	104	86%	106	47%
	65歳以上	213	171	190	-23	-11%	-42	-20%	19	11%
	75歳以上(再掲)	63	101	70	7	11%	38	60%	-31	-31%
	85歳以上(再掲)	13	13	22	9	69%	0	0%	9	69%

山梨県

＜医師数の推移＞

山梨県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,515	172.1	49	1,695	192.0	48	1,924	230.4	49	409	27%	58.3	34%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	613	69.6	48	630	71.3	48	654	78.3	46	41	7%	8.7	12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	85	9.7	47	109	12.3	52	124	14.9	53	39	46%	5.2	54%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	74	8.4	51	79	8.9	48	92	11.0	48	18	24%	2.6	31%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	197	22.4	52	140	15.9	47	156	18.7	50	-41	-21%	-3.7	-17%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.2	47	6	0.7	53	7	0.8	53	5	250%	0.6	269%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	14	1.6	50	24	2.7	54	22	2.6	51	8	57%	1.0	66%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	41	4.7	51	52	5.9	54	58	6.9	54	17	41%	2.3	49%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	119	13.5	51	130	14.7	50	156	18.7	54	37	31%	5.2	38%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.3	44	8	0.9	46	12	1.4	46	9	300%	1.1	322%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	48	5.5	50	44	5.0	46	52	6.2	47	4	8%	0.8	14%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	75	8.5	50	76	8.6	47	91	10.9	51	16	21%	2.4	28%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	61	6.9	50	52	5.9	47	66	7.9	52	5	8%	1.0	14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	46	5.2	55	49	5.5	53	48	5.7	51	2	4%	0.5	10%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	85	9.7	49	88	10.0	52	95	11.4	52	10	12%	1.7	18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	4	0.5	46	18	2.0	55	21	2.5	54	17	425%	2.1	453%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	20	2.3	47	31	3.5	49	39	4.7	49	19	95%	2.4	106%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	24	2.7	46	35	4.0	47	53	6.3	48	29	121%	3.6	133%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				13	1.5	51	18	2.2	48	5	38%	0.7	46%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				79	8.9	47	115	13.8	51	115	46%	4.8	54%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	0.5	41	32	3.6	47	45	5.4	47	41	1025%	4.9	1086%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

山梨県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は130,509人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は347人(18%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は322人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

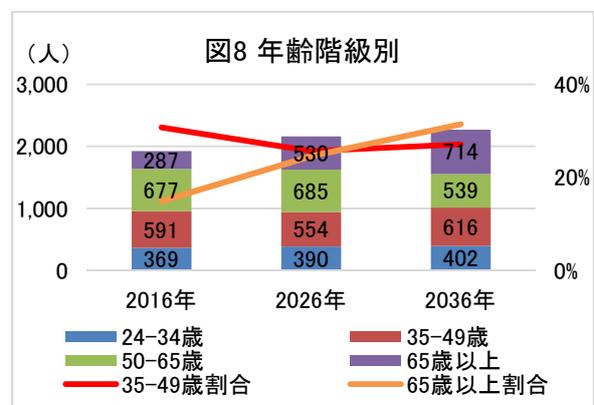
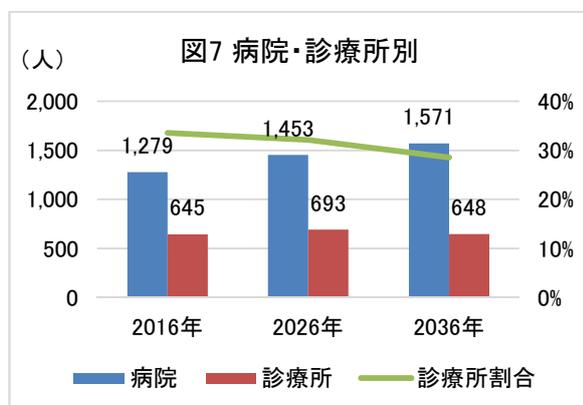
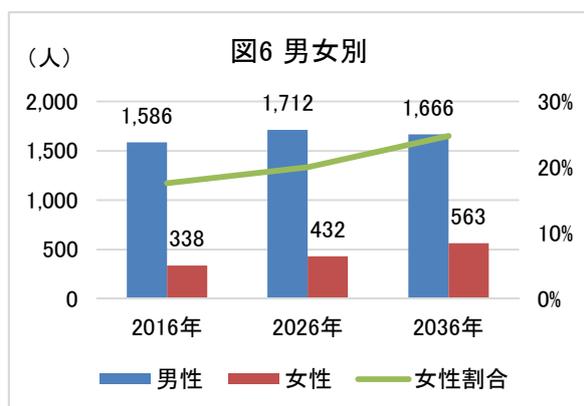
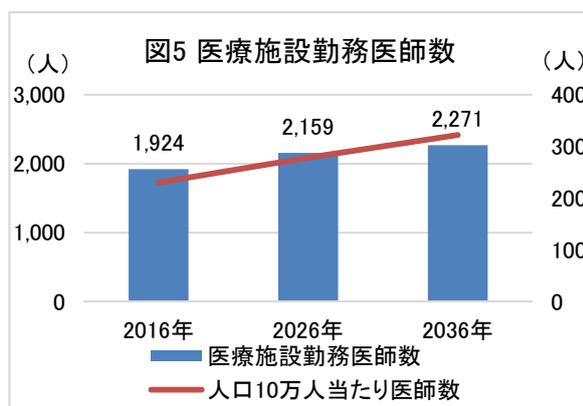
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて80人(5%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に225人(67%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて292人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(0%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は25人(4%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて427人(149%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



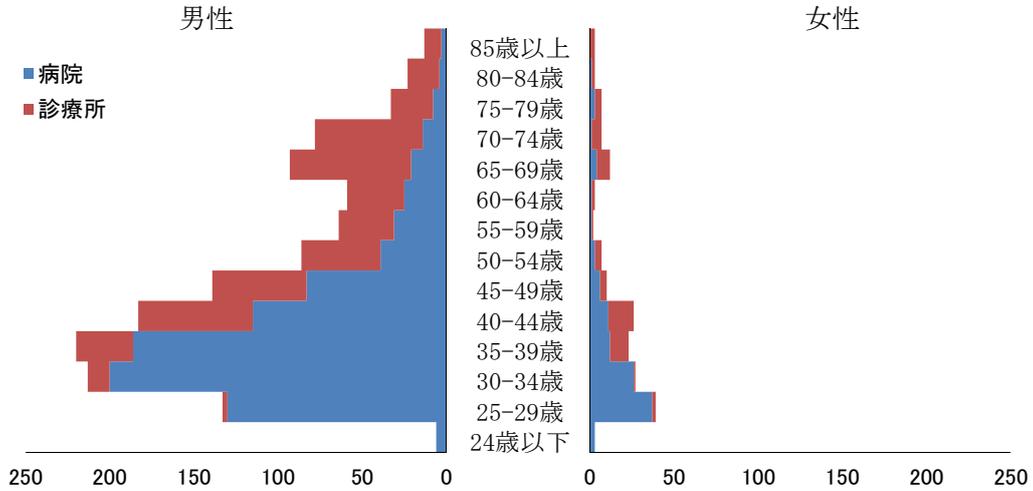
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山梨県

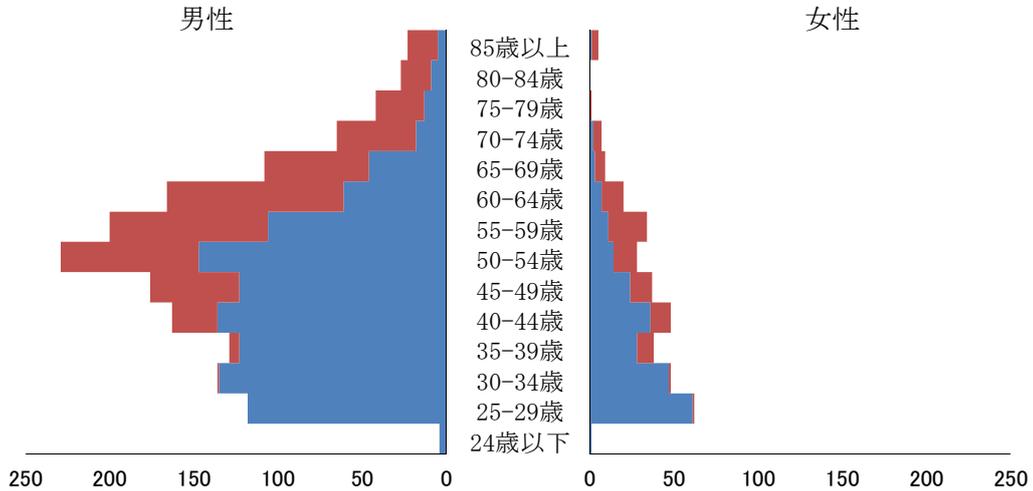
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

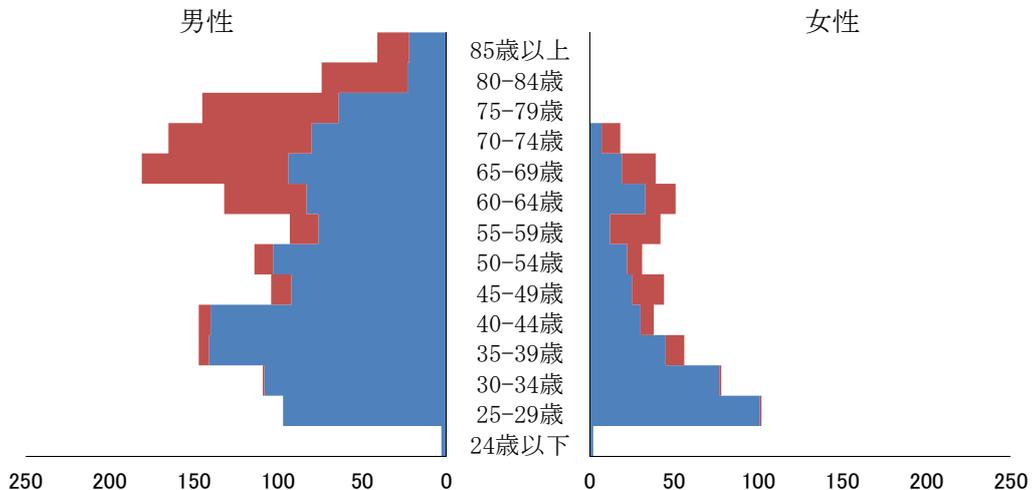
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山梨県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	834,930	775,908	704,421	-130,509	-16%	-59,022	-7%	-71,487	-9%	
医療施設勤務医師数	1,924	2,159	2,271	347	18%	235	12%	112	5%	
人口10万対	230.4	278.3	322.4	92.0	40%	47.8	21%	44.1	16%	
男性医師数	1,586	1,712	1,666	80	5%	126	8%	-46	-3%	
人口10万対	190.0	220.6	236.5	46.6	25%	30.7	16%	15.9	7%	
女性医師数	338	432	563	225	67%	94	28%	131	30%	
人口10万対	40.5	55.7	79.9	39.4	97%	15.2	38%	24.2	44%	
病院勤務医師数	1,279	1,453	1,571	292	23%	174	14%	118	8%	
人口10万対	153.2	187.3	223.0	69.8	46%	34.1	22%	35.8	19%	
診療所勤務医師数	645	693	648	3	0%	48	7%	-45	-6%	
人口10万対	77.3	89.3	92.0	14.7	19%	12.1	16%	2.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	369	390	402	33	9%	21	6%	12	3%
	35-49歳	591	554	616	25	4%	-37	-6%	62	11%
	50-64歳	677	685	539	-138	-20%	8	1%	-146	-21%
	65歳以上	287	530	714	427	149%	243	85%	184	35%
	75歳以上(再掲)	98	152	285	187	191%	54	55%	133	88%
男性	24-34歳	258	272	210	-48	-19%	14	5%	-62	-23%
	35-49歳	468	409	424	-44	-9%	-59	-13%	15	4%
	50-64歳	595	566	423	-172	-29%	-29	-5%	-143	-25%
	65歳以上	265	465	609	344	130%	200	75%	144	31%
	75歳以上(再掲)	92	137	248	156	170%	45	49%	111	81%
女性	24-34歳	111	117	182	71	64%	6	5%	65	56%
	35-49歳	123	130	155	32	26%	7	6%	25	19%
	50-64歳	82	119	128	46	56%	37	45%	9	8%
	65歳以上	22	66	98	76	345%	44	200%	32	48%
	75歳以上(再掲)	6	11	32	26	433%	5	83%	21	191%
病院	24-34歳	366	387	399	33	9%	21	6%	12	3%
	35-49歳	470	475	541	71	15%	5	1%	66	14%
	50-64歳	346	394	318	-28	-8%	48	14%	-76	-19%
	65歳以上	97	197	313	216	223%	100	103%	116	59%
	75歳以上(再掲)	28	53	110	82	293%	25	89%	57	108%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	121	85	86	-35	-29%	-36	-30%	1	1%
	50-64歳	331	267	164	-167	-50%	-64	-19%	-103	-39%
	65歳以上	190	338	395	205	108%	148	78%	57	17%
	75歳以上(再掲)	70	104	187	117	167%	34	49%	83	80%
	85歳以上(再掲)	22	18	24	2	9%	-4	-18%	6	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中北医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は1,686人(0%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は346人(34%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は290人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

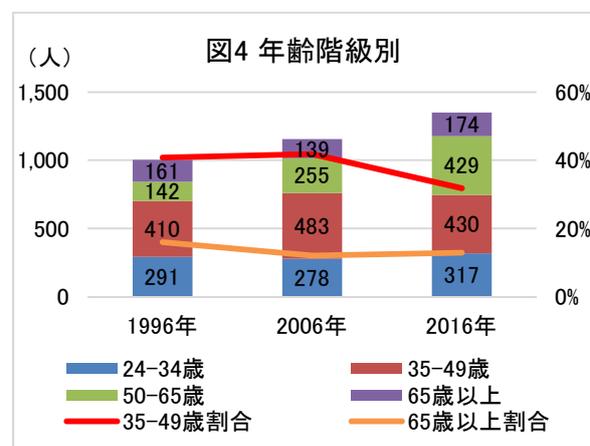
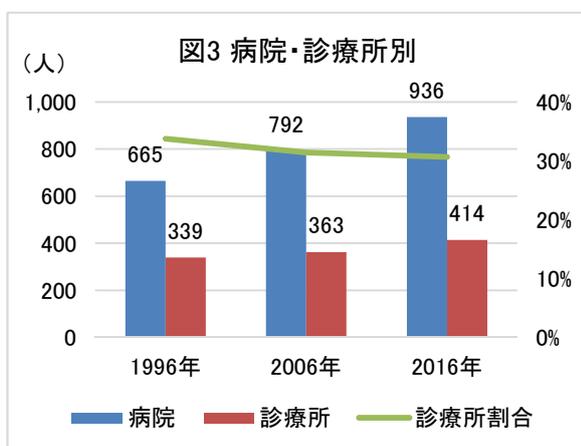
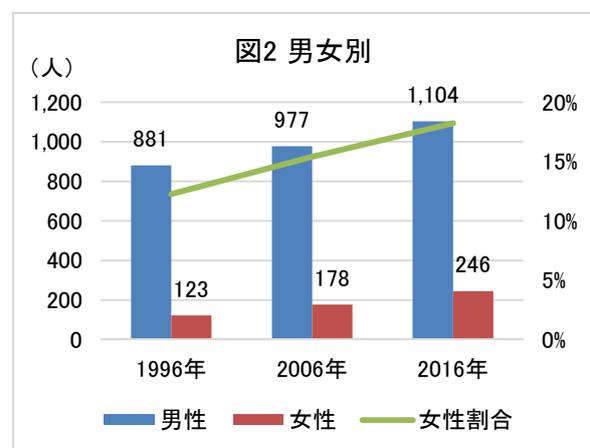
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて223人(25%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に123人(100%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて271人(41%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に75人(22%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人(5%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて13人(8%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年13%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	463,073	476,225	464,759	1,686	0%	13,152	3%	-11,466	-2%	
総医師数	1,053	1,201	1,392	339	32%	148	14%	191	16%	
人口10万対	227.4	252.2	299.5	72.1	32%	24.8	11%	47.3	19%	
医療施設勤務医師数	1,004	1,155	1,350	346	34%	151	15%	195	17%	
人口10万対	216.8	242.5	290.5	73.7	34%	25.7	12%	47.9	20%	
男性医師数	881	977	1,104	223	25%	96	11%	127	13%	
人口10万対	190.3	205.2	237.5	47.3	25%	14.9	8%	32.4	16%	
女性医師数	123	178	246	123	100%	55	45%	68	38%	
人口10万対	26.6	37.4	52.9	26.4	99%	10.8	41%	15.6	42%	
病院勤務医師数	665	792	936	271	41%	127	19%	144	18%	
人口10万対	143.6	166.3	201.4	57.8	40%	22.7	16%	35.1	21%	
診療所勤務医師数	339	363	414	75	22%	24	7%	51	14%	
人口10万対	73.2	76.2	89.1	15.9	22%	3.0	4%	12.9	17%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.4	46.5	48.0	2.7	6%	1.2	3%	1.5	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	291	278	317	26	9%	-13	-4%	39	14%
	35-49歳	410	483	430	20	5%	73	18%	-53	-11%
	50-64歳	142	255	429	287	202%	113	80%	174	68%
	65歳以上	161	139	174	13	8%	-22	-14%	35	25%
	75歳以上(再掲)	44	81	57	13	30%	37	84%	-24	-30%
男性	24-34歳	240	201	224	-16	-7%	-39	-16%	23	11%
	35-49歳	365	414	347	-18	-5%	49	13%	-67	-16%
	50-64歳	135	232	372	237	176%	97	72%	140	60%
	65歳以上	141	130	161	20	14%	-11	-8%	31	24%
	75歳以上(再掲)	35	73	54	19	54%	38	109%	-19	-26%
女性	24-34歳	51	77	93	42	82%	26	51%	16	21%
	35-49歳	45	69	83	38	84%	24	53%	14	20%
	50-64歳	7	23	57	50	714%	16	229%	34	148%
	65歳以上	20	9	13	-7	-35%	-11	-55%	4	44%
	75歳以上(再掲)	9	8	3	-6	-67%	-1	-11%	-5	-63%
病院	24-34歳	278	272	315	37	13%	-6	-2%	43	16%
	35-49歳	285	379	348	63	22%	94	33%	-31	-8%
	50-64歳	67	111	219	152	227%	44	66%	108	97%
	65歳以上	35	30	54	19	54%	-5	-14%	24	80%
	75歳以上(再掲)	11	14	15	4	36%	3	27%	1	7%
診療所	24-34歳	13	6	2	-11	-85%	-7	-54%	-4	-67%
	35-49歳	125	104	82	-43	-34%	-21	-17%	-22	-21%
	50-64歳	75	144	210	135	180%	69	92%	66	46%
	65歳以上	126	109	120	-6	-5%	-17	-13%	11	10%
	75歳以上(再掲)	33	67	42	9	27%	34	103%	-25	-37%
	85歳以上(再掲)	6	6	12	6	100%	0	0%	6	100%

中北医療圏

<医師数の推移>

中北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児科、小児外科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科は、リハビリテーション科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,004	216.8	54	1,155	242.5	55	1,350	290.5	56	346	34%	73.7	34%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	386	83.4	52	393	82.5	51	418	89.9	50	32	8%	6.6	8%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	57	12.3	53	78	16.4	61	87	18.7	60	30	53%	6.4	52%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	56	12.1	60	56	11.8	54	66	14.2	54	10	18%	2.1	17%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	133	28.7	59	79	16.6	48	96	20.7	52	-37	-28%	-8.1	-28%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.4	50	6	1.3	63	6	1.3	60	4	200%	0.9	199%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	9	1.9	52	19	4.0	61	15	3.2	54	6	67%	1.3	66%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	29	6.3	57	37	7.8	62	41	8.8	62	12	41%	2.6	41%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	70	15.1	54	82	17.2	55	104	22.4	61	34	49%	7.3	48%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.4	45	7	1.5	50	10	2.2	51	8	400%	1.7	398%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	37	8.0	57	32	6.7	52	38	8.2	53	1	3%	0.2	2%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	52	11.2	55	54	11.3	54	62	13.3	57	10	19%	2.1	19%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	44	9.5	57	40	8.4	54	51	11.0	62	7	16%	1.5	15%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	29	6.3	59	35	7.3	61	36	7.7	59	7	24%	1.5	24%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	56	12.1	55	59	12.4	58	68	14.6	59	12	21%	2.5	21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.2	43	5	1.0	47	5	1.1	44	4	400%	0.9	398%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	18	3.9	52	29	6.1	58	31	6.7	54	13	72%	2.8	72%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	21	4.5	52	28	5.9	53	47	10.1	56	26	124%	5.6	123%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				12	2.5	59	18	3.9	56	6	50%	1.4	54%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				79	16.6	56	113	24.3	62	113	43%	7.7	47%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	0.4	41	25	5.2	50	38	8.2	51	36	1800%	7.7	1793%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中北医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は53,654人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は329人(24%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は408人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

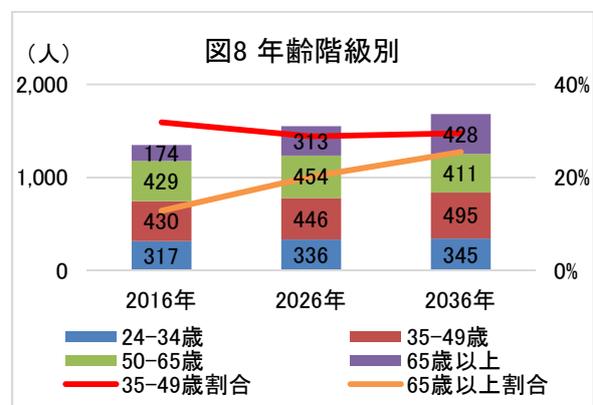
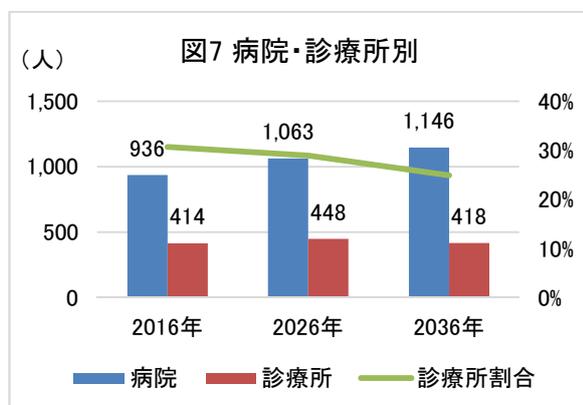
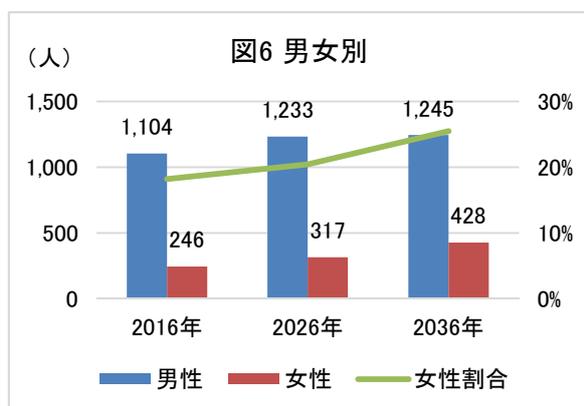
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて141人(13%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に182人(74%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて210人(22%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(1%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は65人(15%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて254人(146%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年13%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



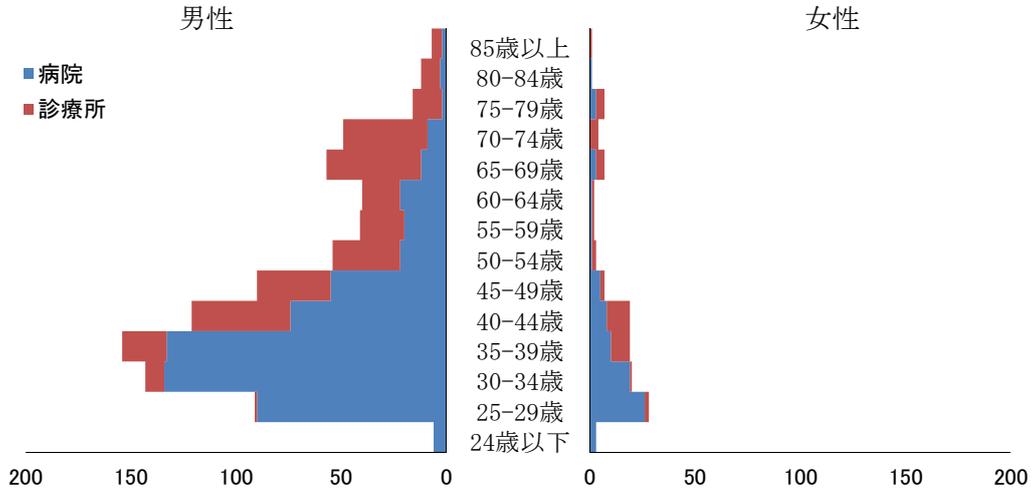
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中北医療圏

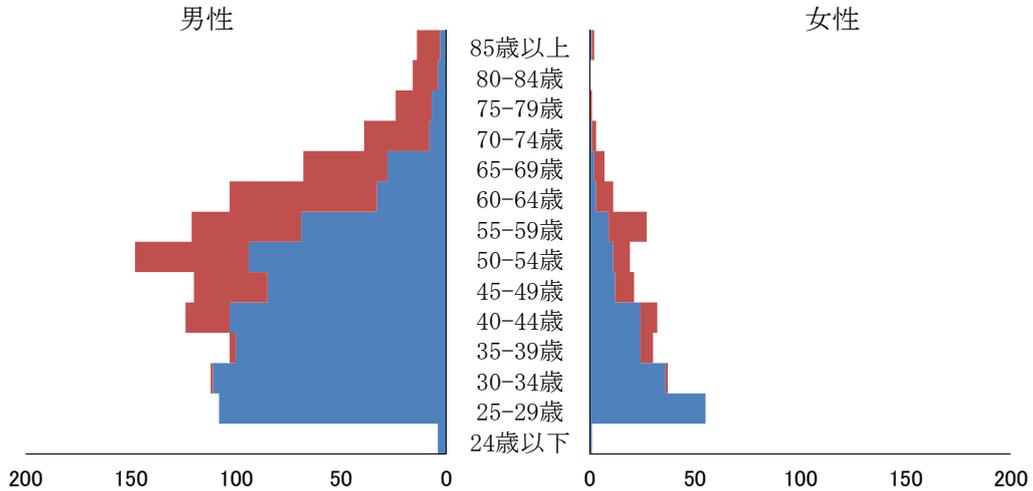
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

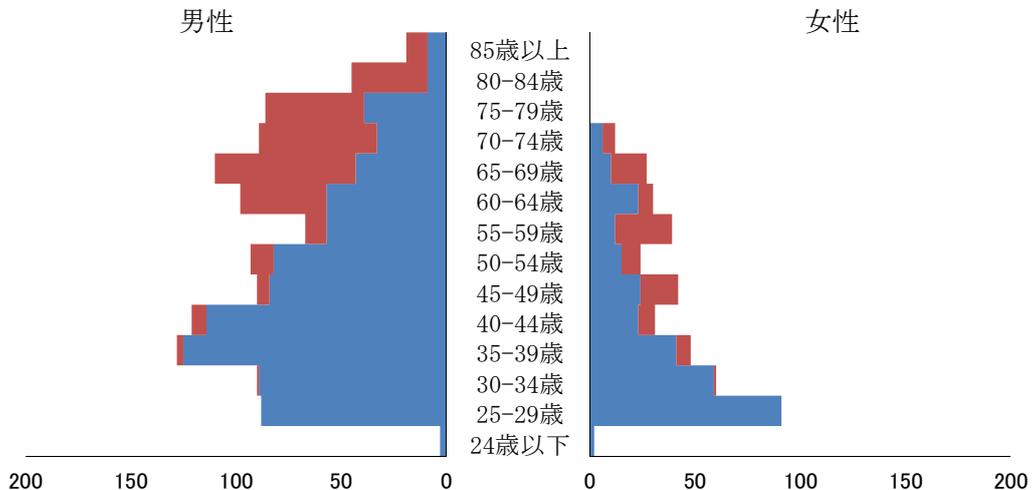
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	464,759	443,143	411,105	-53,654	-12%	-21,616	-5%	-32,038	-7%	
医療施設勤務医師数	1,350	1,549	1,679	329	24%	199	15%	130	8%	
人口10万対	290.5	349.5	408.4	117.9	41%	59.1	20%	58.9	17%	
男性医師数	1,104	1,233	1,245	141	13%	129	12%	12	1%	
人口10万対	237.5	278.2	302.8	65.3	27%	40.7	17%	24.6	9%	
女性医師数	246	317	428	182	74%	71	29%	111	35%	
人口10万対	52.9	71.5	104.1	51.2	97%	18.6	35%	32.6	46%	
病院勤務医師数	936	1,063	1,146	210	22%	127	14%	83	8%	
人口10万対	201.4	239.9	278.8	77.4	38%	38.5	19%	38.9	16%	
診療所勤務医師数	414	448	418	4	1%	34	8%	-30	-7%	
人口10万対	89.1	101.1	101.7	12.6	14%	12.0	13%	0.6	1%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	317	336	345	28	9%	19	6%	9	3%
	35-49歳	430	446	495	65	15%	16	4%	49	11%
	50-64歳	429	454	411	-18	-4%	25	6%	-43	-9%
	65歳以上	174	313	428	254	146%	139	80%	115	37%
	75歳以上(再掲)	57	96	176	119	209%	39	68%	80	83%
男性	24-34歳	224	237	182	-42	-19%	13	6%	-55	-23%
	35-49歳	347	342	370	23	7%	-5	-1%	28	8%
	50-64歳	372	384	330	-42	-11%	12	3%	-54	-14%
	65歳以上	161	270	363	202	125%	109	68%	93	34%
	75歳以上(再掲)	54	87	147	93	172%	33	61%	60	69%
女性	24-34歳	93	99	153	60	65%	6	6%	54	55%
	35-49歳	83	104	123	40	48%	21	25%	19	18%
	50-64歳	57	67	81	24	42%	10	18%	14	21%
	65歳以上	13	47	71	58	446%	34	262%	24	51%
	75歳以上(再掲)	3	8	32	29	967%	5	167%	24	300%
病院	24-34歳	315	334	343	28	9%	19	6%	9	3%
	35-49歳	348	378	420	72	21%	30	9%	42	11%
	50-64歳	219	251	238	19	9%	32	15%	-13	-5%
	65歳以上	54	100	145	91	169%	46	85%	45	45%
	75歳以上(再掲)	15	32	58	43	287%	17	113%	26	81%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	82	44	45	-37	-45%	-38	-46%	1	2%
	50-64歳	210	186	106	-104	-50%	-24	-11%	-80	-43%
	65歳以上	120	216	265	145	121%	96	80%	49	23%
	75歳以上(再掲)	42	65	120	78	186%	23	55%	55	85%
	85歳以上(再掲)	12	8	11	-1	-8%	-4	-33%	3	38%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡東医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は8,035人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は54人(26%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は189人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

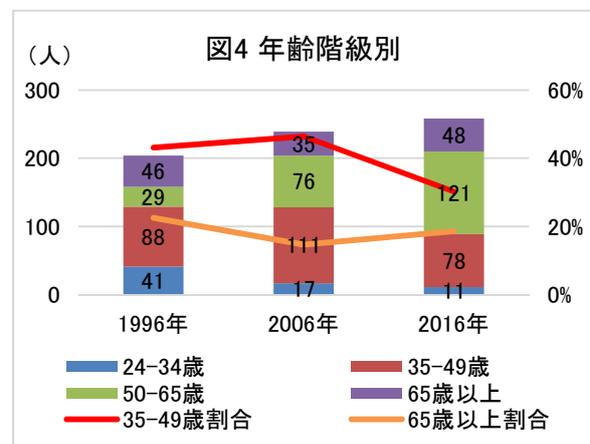
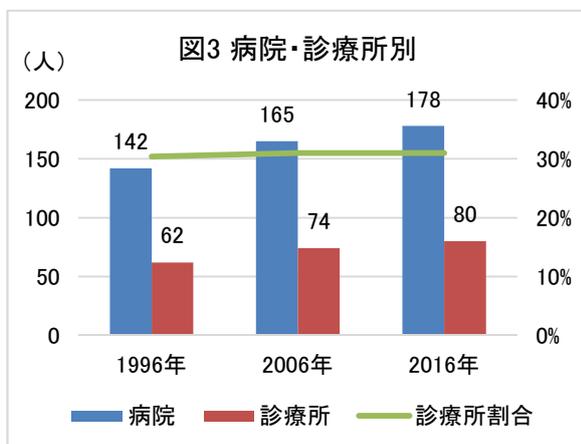
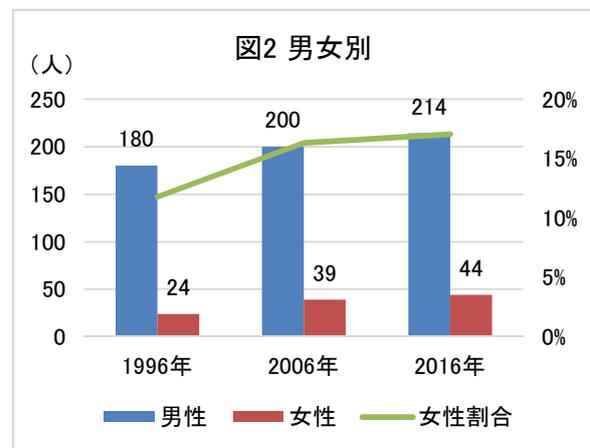
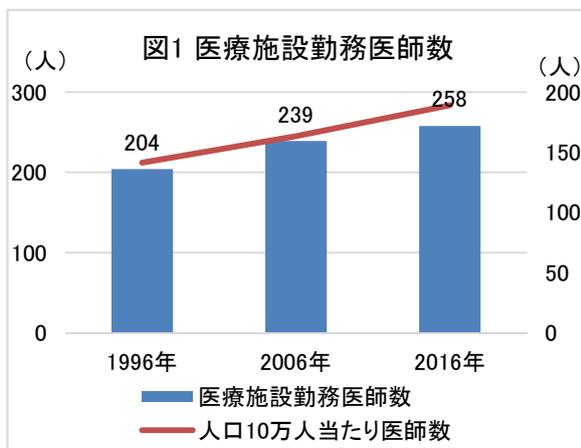
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて34人(19%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に20人(83%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて36人(25%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(29%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(-11%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年19%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

峡東医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	144,406	146,319	136,371	-8,035	-6%	1,913	1%	-9,948	-7%	
総医師数	209	245	263	54	26%	36	17%	18	7%	
人口10万対	144.7	167.4	192.9	48.1	33%	22.7	16%	25.4	15%	
医療施設勤務医師数	204	239	258	54	26%	35	17%	19	8%	
人口10万対	141.3	163.3	189.2	47.9	34%	22.1	16%	25.8	16%	
男性医師数	180	200	214	34	19%	20	11%	14	7%	
人口10万対	124.6	136.7	156.9	32.3	26%	12.0	10%	20.2	15%	
女性医師数	24	39	44	20	83%	15	63%	5	13%	
人口10万対	16.6	26.7	32.3	15.6	94%	10.0	60%	5.6	21%	
病院勤務医師数	142	165	178	36	25%	23	16%	13	8%	
人口10万対	98.3	112.8	130.5	32.2	33%	14.4	15%	17.8	16%	
診療所勤務医師数	62	74	80	18	29%	12	19%	6	8%	
人口10万対	42.9	50.6	58.7	15.7	37%	7.6	18%	8.1	16%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.9	50.8	54.9	6.1	12%	1.9	4%	4.1	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	41	17	11	-30	-73%	-24	-59%	-6	-35%
	35-49歳	88	111	78	-10	-11%	23	26%	-33	-30%
	50-64歳	29	76	121	92	317%	47	162%	45	59%
	65歳以上	46	35	48	2	4%	-11	-24%	13	37%
	75歳以上(再掲)	18	18	11	-7	-39%	0	0%	-7	-39%
男性	24-34歳	33	7	6	-27	-82%	-26	-79%	-1	-14%
	35-49歳	77	93	55	-22	-29%	16	21%	-38	-41%
	50-64歳	28	67	107	79	282%	39	139%	40	60%
	65歳以上	42	33	46	4	10%	-9	-21%	13	39%
	75歳以上(再掲)	16	17	11	-5	-31%	1	6%	-6	-35%
女性	24-34歳	8	10	5	-3	-38%	2	25%	-5	-50%
	35-49歳	11	18	23	12	109%	7	64%	5	28%
	50-64歳	1	9	14	13	1300%	8	800%	5	56%
	65歳以上	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	39	15	11	-28	-72%	-24	-62%	-4	-27%
	35-49歳	66	83	61	-5	-8%	17	26%	-22	-27%
	50-64歳	18	48	76	58	322%	30	167%	28	58%
	65歳以上	19	19	30	11	58%	0	0%	11	58%
	75歳以上(再掲)	6	6	7	1	17%	0	0%	1	17%
診療所	24-34歳	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	35-49歳	22	28	17	-5	-23%	6	27%	-11	-39%
	50-64歳	11	28	45	34	309%	17	155%	17	61%
	65歳以上	27	16	18	-9	-33%	-11	-41%	2	13%
	75歳以上(再掲)	12	12	4	-8	-67%	0	0%	-8	-67%
	85歳以上(再掲)	2	4	1	-1	-50%	2	100%	-3	-75%

峡東医療圏

<医師数の推移>

峡東医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、形成外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、整形外科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	204	141.3	45	239	163.3	45	258	189.2	44	54	26%	47.9	34%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	90	62.3	46	103	70.4	47	103	75.5	46	13	14%	13.2	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	4.8	36	14	9.6	46	14	10.3	44	7	100%	5.4	112%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	10	6.9	47	12	8.2	47	13	9.5	45	3	30%	2.6	38%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	22	15.2	44	25	17.1	48	27	19.8	51	5	23%	4.6	30%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	4	2.8	58	2	1.4	46	4	2.9	53	0	0%	0.2	6%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	4.8	51	9	6.2	55	9	6.6	53	2	29%	1.8	36%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	23	15.9	56	19	13.0	46	20	14.7	46	-3	-13%	-1.3	-8%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	3.5	44	7	4.8	46	11	8.1	52	6	120%	4.6	133%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	5.5	43	9	6.2	41	12	8.8	46	4	50%	3.3	59%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	4.8	44	5	3.4	39	7	5.1	43	0	0%	0.3	6%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	4.8	53	5	3.4	44	6	4.4	45	-1	-14%	-0.4	-9%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	8	5.5	40	9	6.2	42	8	5.9	40	0	0%	0.3	6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.4	59	13	8.9	111	16	11.7	113	14	700%	10.3	747%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.7	41	1	0.7	40	1	0.7	38	0	0%	0.0	6%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.4	42	4	2.7	44	2	1.5	37	0	0%	0.1	6%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.7	42	2	1.4	43	5	3.7	44	4	400%	3.0	429%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

峡東医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は26,486人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は4人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は231人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

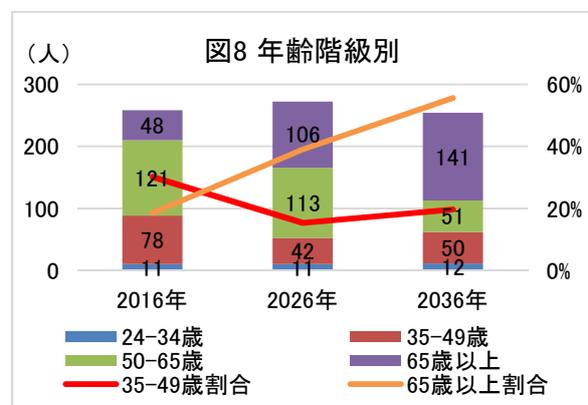
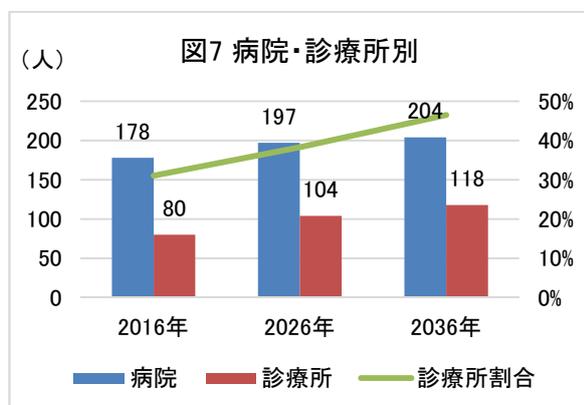
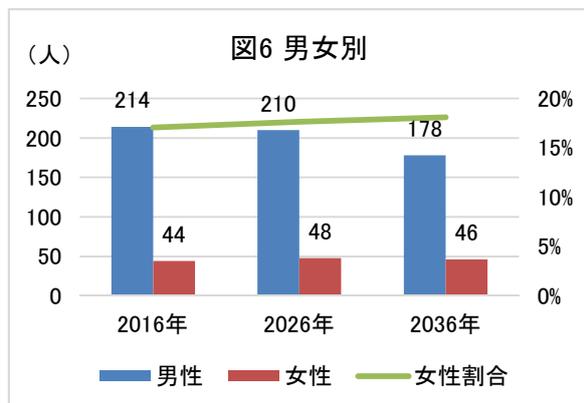
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて36人(-17%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(5%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は18%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて26人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に38人(48%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は46%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は28人(-36%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて93人(194%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年56%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



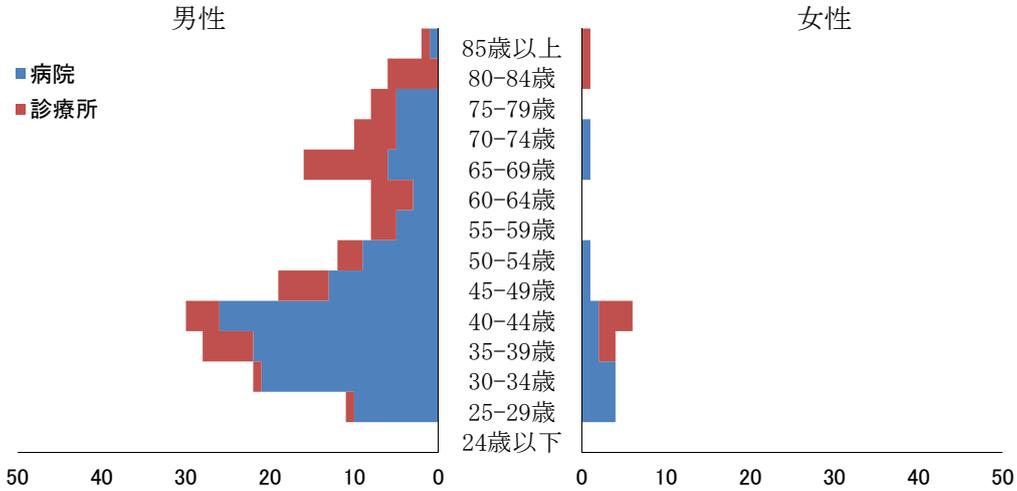
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡東医療圏

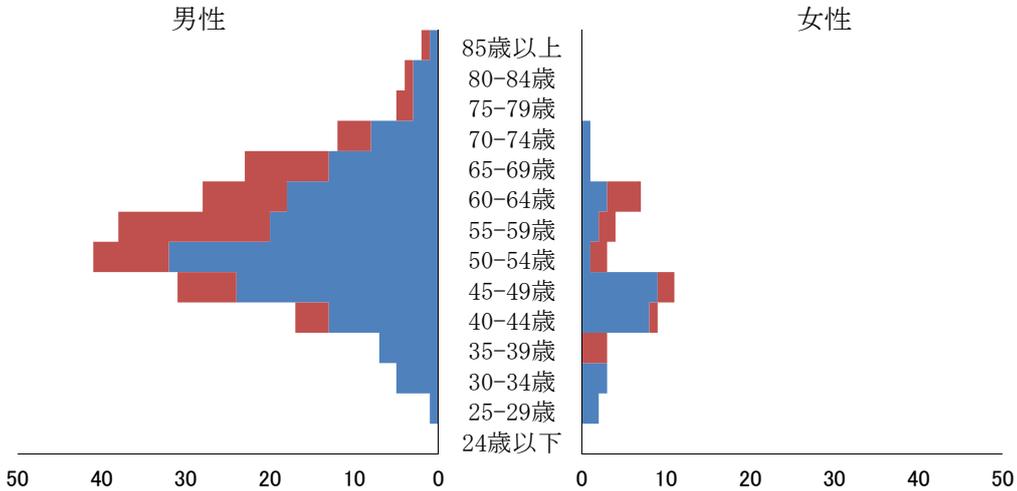
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

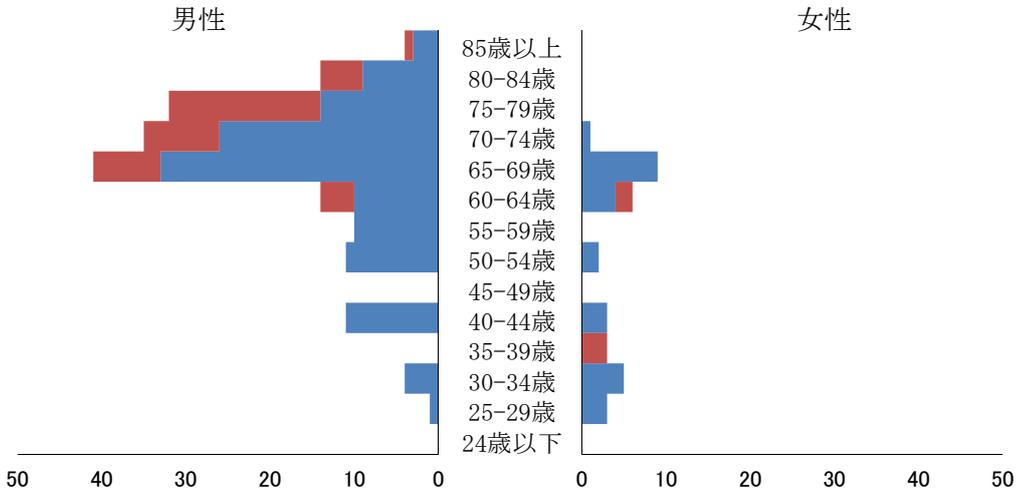
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡東医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	136,371	123,472	109,885	-26,486	-19%	-12,899	-9%	-13,587	-11%	
医療施設勤務医師数	258	272	254	-4	-2%	14	5%	-18	-7%	
人口10万対	189.2	220.3	231.2	42.0	22%	31.1	16%	10.9	5%	
男性医師数	214	210	178	-36	-17%	-4	-2%	-32	-15%	
人口10万対	156.9	170.1	162.0	5.1	3%	13.2	8%	-8.1	-5%	
女性医師数	44	48	46	2	5%	4	9%	-2	-4%	
人口10万対	32.3	38.9	41.9	9.6	30%	6.6	20%	3.0	8%	
病院勤務医師数	178	197	204	26	15%	19	11%	7	4%	
人口10万対	130.5	159.6	185.6	55.1	42%	29.0	22%	26.1	16%	
診療所勤務医師数	80	104	118	38	48%	24	30%	14	13%	
人口10万対	58.7	84.2	107.4	48.7	83%	25.6	44%	23.2	27%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	78	42	50	-28	-36%	-36	-46%	8	19%
	50-64歳	121	113	51	-70	-58%	-8	-7%	-62	-55%
	65歳以上	48	106	141	93	194%	58	121%	35	33%
	75歳以上(再掲)	11	22	48	37	336%	11	100%	26	118%
男性	24-34歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	35-49歳	55	22	12	-43	-78%	-33	-60%	-10	-45%
	50-64歳	107	87	38	-69	-64%	-20	-19%	-49	-56%
	65歳以上	46	95	123	77	167%	49	107%	28	29%
	75歳以上(再掲)	11	22	47	36	327%	11	100%	25	114%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	23	9	9	-14	-61%	-14	-61%	0	0%
	50-64歳	14	23	15	1	7%	9	64%	-8	-35%
	65歳以上	2	11	14	12	600%	9	450%	3	27%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	61	40	57	-4	-7%	-21	-34%	17	43%
	50-64歳	76	84	37	-39	-51%	8	11%	-47	-56%
	65歳以上	30	62	98	68	227%	32	107%	36	58%
	75歳以上(再掲)	7	12	25	18	257%	5	71%	13	108%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	17	30	30	13	76%	13	76%	0	0%
	50-64歳	45	28	38	-7	-16%	-17	-38%	10	36%
	65歳以上	18	46	50	32	178%	28	156%	4	9%
	75歳以上(再掲)	4	12	28	24	600%	8	200%	16	133%
	85歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡南医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,727人(-25%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は22人(-27%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は112人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-3%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

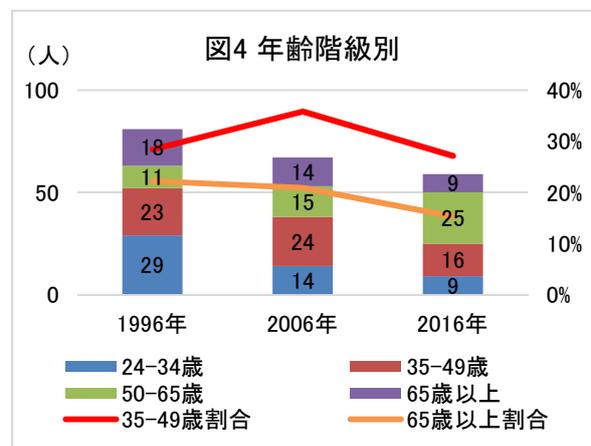
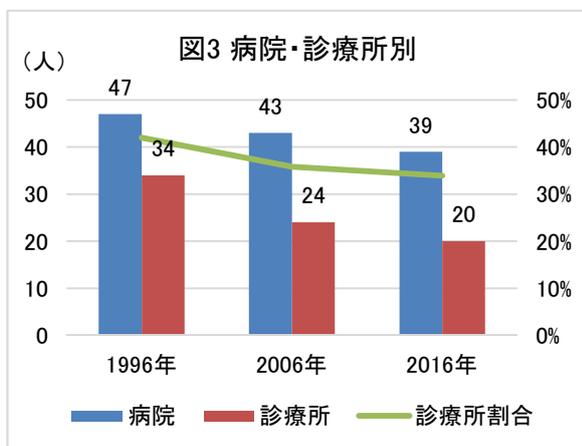
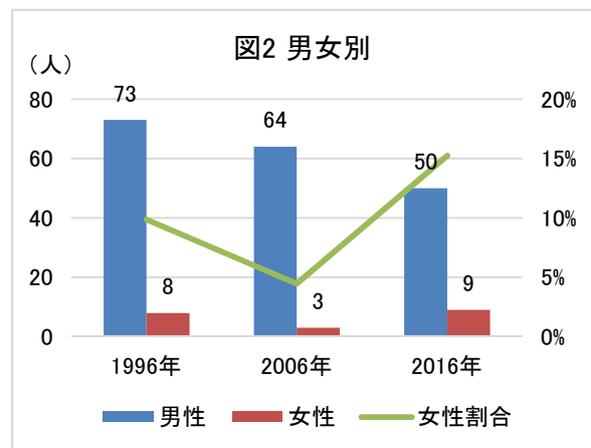
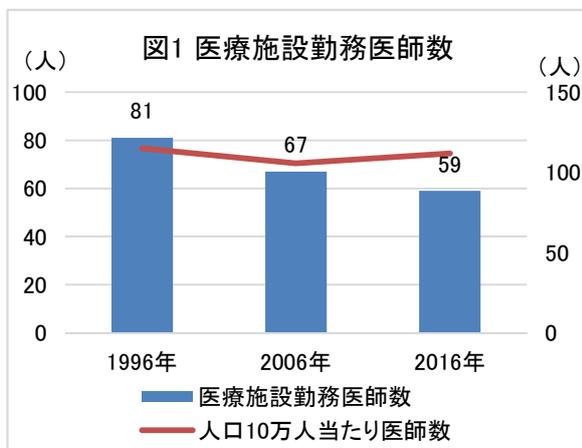
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて23人(-32%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(13%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて8人(-17%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-41%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は7人(-30%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(-50%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

峡南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	70,498	63,466	52,771	-17,727	-25%	-7,032	-10%	-10,695	-17%	
総医師数	84	68	61	-23	-27%	-16	-19%	-7	-10%	
人口10万対	119.2	107.1	115.6	-3.6	-3%	-12.0	-10%	8.4	8%	
医療施設勤務医師数	81	67	59	-22	-27%	-14	-17%	-8	-12%	
人口10万対	114.9	105.6	111.8	-3.1	-3%	-9.3	-8%	6.2	6%	
男性医師数	73	64	50	-23	-32%	-9	-12%	-14	-22%	
人口10万対	103.5	100.8	94.7	-8.8	-8%	-2.7	-3%	-6.1	-6%	
女性医師数	8	3	9	1	13%	-5	-63%	6	200%	
人口10万対	11.3	4.7	17.1	5.7	50%	-6.6	-58%	12.3	261%	
病院勤務医師数	47	43	39	-8	-17%	-4	-9%	-4	-9%	
人口10万対	66.7	67.8	73.9	7.2	11%	1.1	2%	6.2	9%	
診療所勤務医師数	34	24	20	-14	-41%	-10	-29%	-4	-17%	
人口10万対	48.2	37.8	37.9	-10.3	-21%	-10.4	-22%	0.1	0%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.9	49.5	52.4	5.4	12%	2.6	5%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	29	14	9	-20	-69%	-15	-52%	-5	-36%
	35-49歳	23	24	16	-7	-30%	1	4%	-8	-33%
	50-64歳	11	15	25	14	127%	4	36%	10	67%
	65歳以上	18	14	9	-9	-50%	-4	-22%	-5	-36%
	75歳以上(再掲)	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
男性	24-34歳	22	11	7	-15	-68%	-11	-50%	-4	-36%
	35-49歳	23	24	10	-13	-57%	1	4%	-14	-58%
	50-64歳	11	15	24	13	118%	4	36%	9	60%
	65歳以上	17	14	9	-8	-47%	-3	-18%	-5	-36%
	75歳以上(再掲)	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
女性	24-34歳	7	3	2	-5	-71%	-4	-57%	-1	-33%
	35-49歳	0	0	6	6		0		6	
	50-64歳	0	0	1	1		0		1	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	27	12	9	-18	-67%	-15	-56%	-3	-25%
	35-49歳	14	21	15	1	7%	7	50%	-6	-29%
	50-64歳	4	5	14	10	250%	1	25%	9	180%
	65歳以上	2	5	1	-1	-50%	3	150%	-4	-80%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
診療所	24-34歳	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	35-49歳	9	3	1	-8	-89%	-6	-67%	-2	-67%
	50-64歳	7	10	11	4	57%	3	43%	1	10%
	65歳以上	16	9	8	-8	-50%	-7	-44%	-1	-11%
	75歳以上(再掲)	4	5	4	0	0%	1	25%	-1	-20%
	85歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	

峡南医療圏

<医師数の推移>

峡南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、整形外科、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	81	114.9	42	67	105.6	37	59	111.8	36	-22	-27%	-3.1	-3%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	43	61.0	46	30	47.3	39	28	53.1	38	-15	-35%	-7.9	-13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	5.7	38	3	4.7	35	4	7.6	39	0	0%	1.9	34%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	0	0.0	30	0	0.0	28	0	0.0	27	0	0%	0.0	0%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	14	19.9	49	13	20.5	53	11	20.8	53	-3	-21%	1.0	5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	0	0.0	28	0	0%	0.0	0%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	8.5	41	8	12.6	46	9	17.1	51	3	50%	8.5	100%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.8	43	1	1.6	36	1	1.9	35	-1	-50%	-0.9	-33%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.8	37	3	4.7	38	3	5.7	39	1	50%	2.8	100%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	4.3	42	2	3.2	38	1	1.9	33	-2	-67%	-2.4	-55%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	5.7	57	4	6.3	57	1	1.9	36	-3	-75%	-3.8	-67%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	3	4.3	37	3	4.7	39	0	0.0	28	-3	-100%	-4.3	-100%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	1	1.9	40	1	100%	1.9	100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

峡南医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は15,143人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は12人(-20%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は125人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

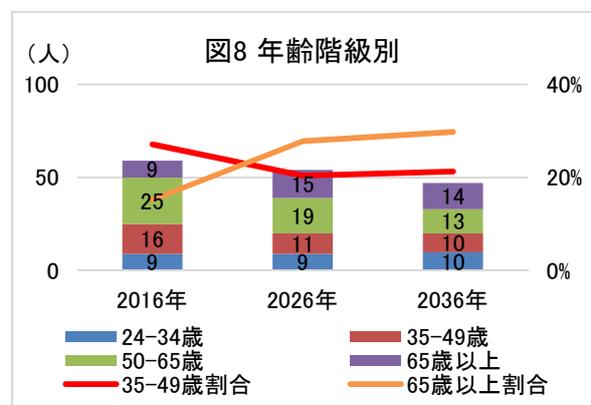
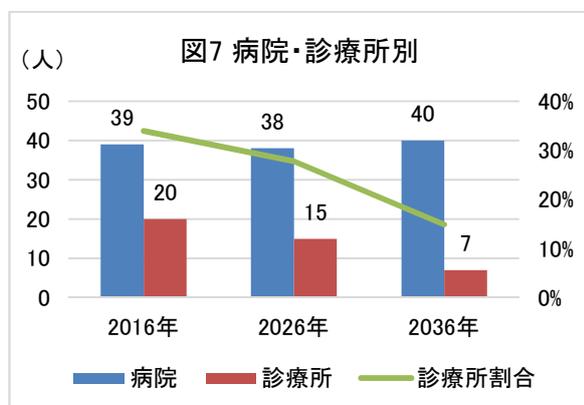
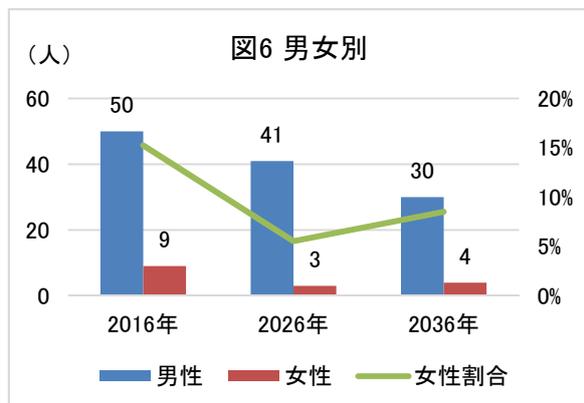
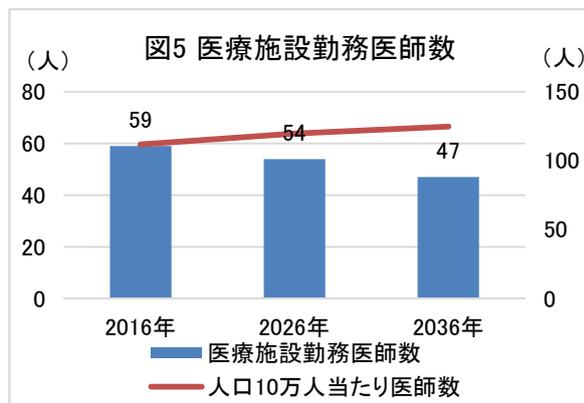
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて20人(-40%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-56%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に13人(-65%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は15%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(-38%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて5人(56%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



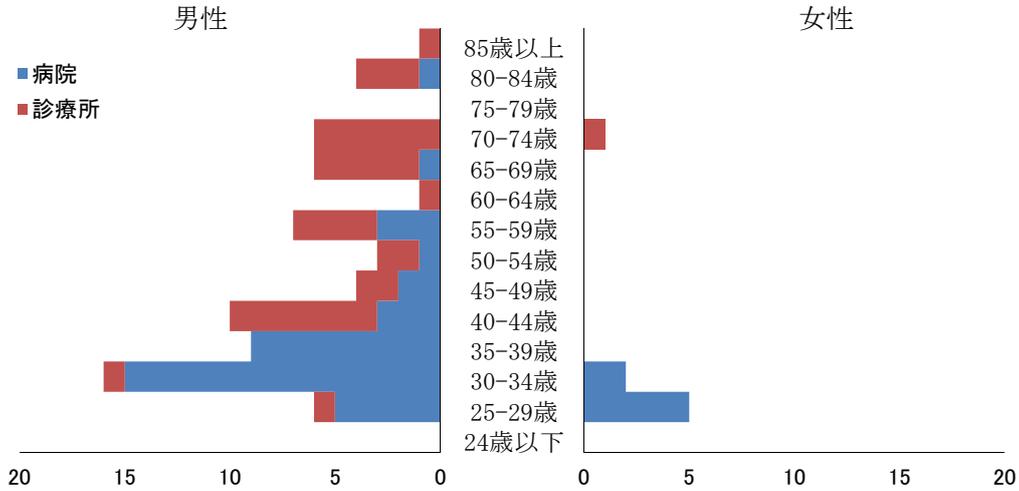
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡南医療圏

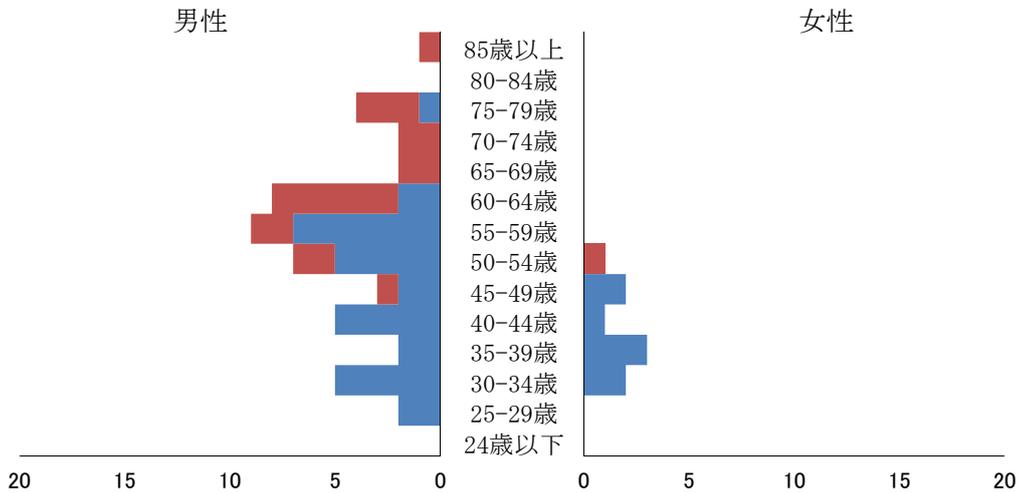
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

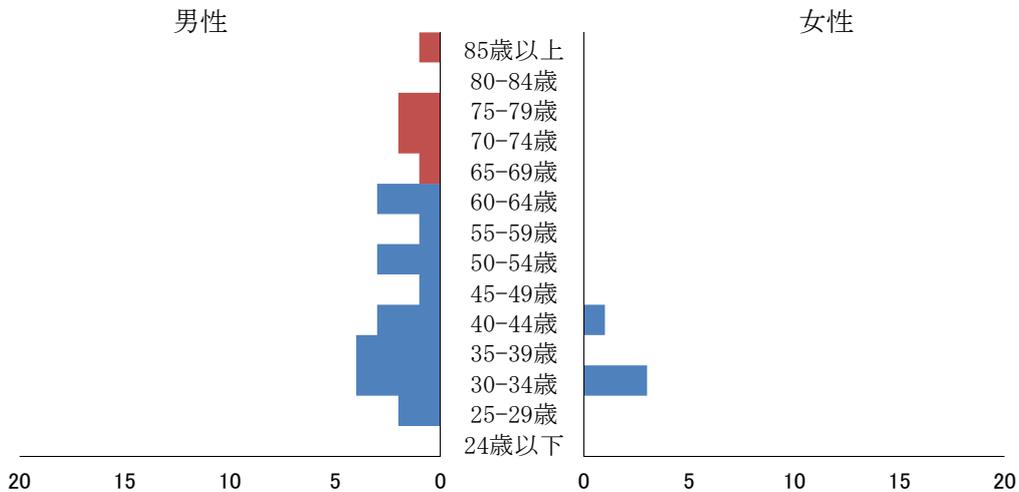
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

峡南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	52,771	45,139	37,628	-15,143	-29%	-7,632	-14%	-7,511	-17%	
医療施設勤務医師数	59	54	47	-12	-20%	-5	-8%	-7	-13%	
人口10万対	111.8	119.6	124.9	13.1	12%	7.8	7%	5.3	4%	
男性医師数	50	41	30	-20	-40%	-9	-18%	-11	-27%	
人口10万対	94.7	90.8	79.7	-15.0	-16%	-3.9	-4%	-11.1	-12%	
女性医師数	9	3	4	-5	-56%	-6	-67%	1	33%	
人口10万対	17.1	6.6	10.6	-6.4	-38%	-10.4	-61%	4.0	60%	
病院勤務医師数	39	38	40	1	3%	-1	-3%	2	5%	
人口10万対	73.9	84.2	106.3	32.4	44%	10.3	14%	22.1	26%	
診療所勤務医師数	20	15	7	-13	-65%	-5	-25%	-8	-53%	
人口10万対	37.9	33.2	18.6	-19.3	-51%	-4.7	-12%	-14.6	-44%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	9	9	10	1	11%	0	0%	1	11%
	35-49歳	16	11	10	-6	-38%	-5	-31%	-1	-9%
	50-64歳	25	19	13	-12	-48%	-6	-24%	-6	-32%
	65歳以上	9	15	14	5	56%	6	67%	-1	-7%
	75歳以上(再掲)	5	2	5	0	0%	-3	-60%	3	150%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	10	5	5	-5	-50%	-5	-50%	0	0%
	50-64歳	24	14	8	-16	-67%	-10	-42%	-6	-43%
	65歳以上	9	15	11	2	22%	6	67%	-4	-27%
	75歳以上(再掲)	5	2	5	0	0%	-3	-60%	3	150%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	6	1	1	-5	-83%	-5	-83%	0	0%
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	9	9	10	1	11%	0	0%	1	11%
	35-49歳	15	17	21	6	40%	2	13%	4	24%
	50-64歳	14	12	9	-5	-36%	-2	-14%	-3	-25%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	11	4	0	-11	-100%	-7	-64%	-4	-100%
	65歳以上	8	11	7	-1	-13%	3	38%	-4	-36%
	75歳以上(再掲)	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士・東部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は21,211人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は31人(14%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は142人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

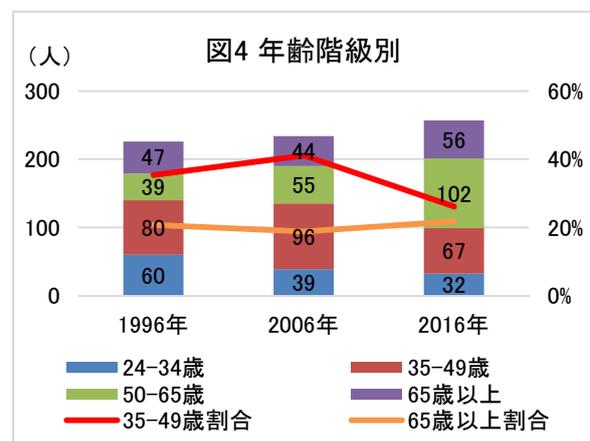
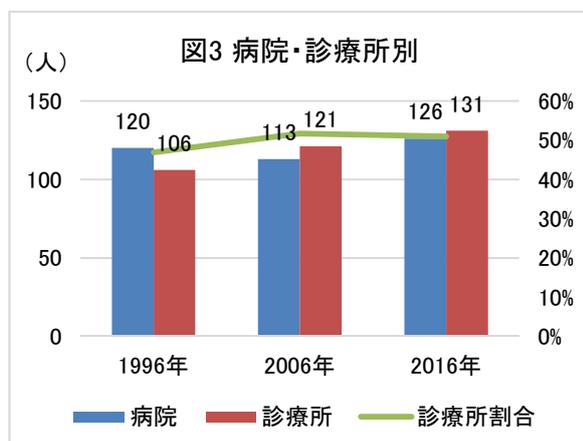
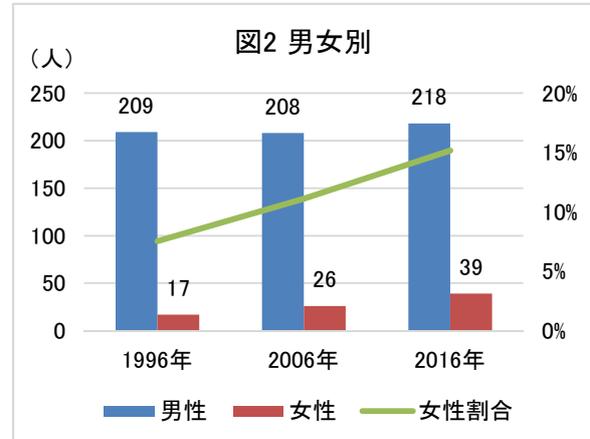
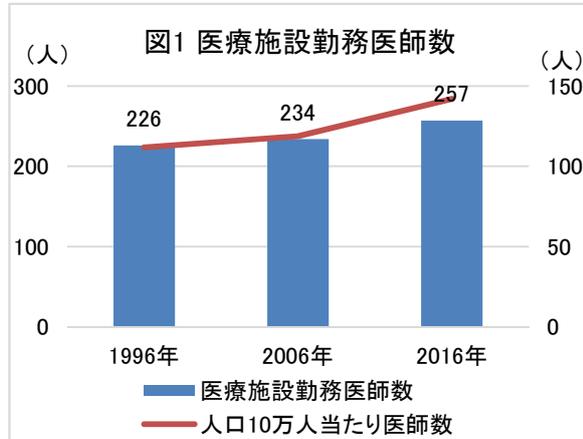
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に22人(129%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて6人(5%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に25人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は51%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は13人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(19%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

富士・東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	202,240	196,984	181,029	-21,211	-10%	-5,256	-3%	-15,955	-8%	
総医師数	228	238	274	46	20%	10	4%	36	15%	
人口10万対	112.7	120.8	151.4	38.6	34%	8.1	7%	30.5	25%	
医療施設勤務医師数	226	234	257	31	14%	8	4%	23	10%	
人口10万対	111.7	118.8	142.0	30.2	27%	7.0	6%	23.2	20%	
男性医師数	209	208	218	9	4%	-1	0%	10	5%	
人口10万対	103.3	105.6	120.4	17.1	17%	2.2	2%	14.8	14%	
女性医師数	17	26	39	22	129%	9	53%	13	50%	
人口10万対	8.4	13.2	21.5	13.1	156%	4.8	57%	8.3	63%	
病院勤務医師数	120	113	126	6	5%	-7	-6%	13	12%	
人口10万対	59.3	57.4	69.6	10.3	17%	-2.0	-3%	12.2	21%	
診療所勤務医師数	106	121	131	25	24%	15	14%	10	8%	
人口10万対	52.4	61.4	72.4	20.0	38%	9.0	17%	10.9	18%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.9	50.0	54.1	6.2	13%	2.1	4%	4.0	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	60	39	32	-28	-47%	-21	-35%	-7	-18%
	35-49歳	80	96	67	-13	-16%	16	20%	-29	-30%
	50-64歳	39	55	102	63	162%	16	41%	47	85%
	65歳以上	47	44	56	9	19%	-3	-6%	12	27%
	75歳以上(再掲)	15	18	25	10	67%	3	20%	7	39%
男性	24-34歳	57	31	21	-36	-63%	-26	-46%	-10	-32%
	35-49歳	77	88	56	-21	-27%	11	14%	-32	-36%
	50-64歳	35	49	92	57	163%	14	40%	43	88%
	65歳以上	40	40	49	9	23%	0	0%	9	23%
	75歳以上(再掲)	13	15	22	9	69%	2	15%	7	47%
女性	24-34歳	3	8	11	8	267%	5	167%	3	38%
	35-49歳	3	8	11	8	267%	5	167%	3	38%
	50-64歳	4	6	10	6	150%	2	50%	4	67%
	65歳以上	7	4	7	0	0%	-3	-43%	3	75%
	75歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
病院	24-34歳	58	35	31	-27	-47%	-23	-40%	-4	-11%
	35-49歳	48	59	46	-2	-4%	11	23%	-13	-22%
	50-64歳	11	12	37	26	236%	1	9%	25	208%
	65歳以上	3	7	12	9	300%	4	133%	5	71%
	75歳以上(再掲)	1	1	5	4	400%	0	0%	4	400%
診療所	24-34歳	2	4	1	-1	-50%	2	100%	-3	-75%
	35-49歳	32	37	21	-11	-34%	5	16%	-16	-43%
	50-64歳	28	43	65	37	132%	15	54%	22	51%
	65歳以上	44	37	44	0	0%	-7	-16%	7	19%
	75歳以上(再掲)	14	17	20	6	43%	3	21%	3	18%
	85歳以上(再掲)	4	3	8	4	100%	-1	-25%	5	167%

富士・東部医療圏

＜医師数の推移＞

富士・東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	226	111.7	41	234	118.8	39	257	142.0	39	31	14%	30.2	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	94	46.5	41	104	52.8	41	105	58.0	40	11	12%	11.5	25%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	17	8.4	44	14	7.1	40	19	10.5	45	2	12%	2.1	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	8	4.0	40	11	5.6	41	13	7.2	41	5	63%	3.2	82%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	28	13.8	42	23	11.7	41	22	12.2	41	-6	-21%	-1.7	-12%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	0.6	49	1		0.6	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.5	42	3	1.5	47	3	1.7	45	2	200%	1.2	235%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	2.5	42	6	3.0	42	8	4.4	45	3	60%	1.9	79%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	20	9.9	44	21	10.7	41	23	12.7	42	3	15%	2.8	28%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.5	45	1	0.5	43	2	1.1	44	1	100%	0.6	123%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.0	40	4	2.0	37	2	1.1	33	-2	-50%	-0.9	-44%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	13	6.4	45	10	5.1	39	14	7.7	44	1	8%	1.3	20%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	3.5	40	5	2.5	36	7	3.9	39	0	0%	0.4	12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	3.0	45	5	2.5	40	5	2.8	39	-1	-17%	-0.2	-7%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	18	8.9	48	17	8.6	48	19	10.5	50	1	6%	1.6	18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.5	47	0	0.0	38	0	0.0	37	-1	-100%	-0.5	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.5	41	1	0.5	39	7	3.9	46	6	600%	3.4	682%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.5	39	3	1.5	40	4	2.2	39	3	300%	1.7	347%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.5	44	0	0.0	38	-1	-100%	-0.5	-100%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	2	1.1	37	2		1.1	
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.5	41	5	2.5	45	1	0.6	38	0	0%	0.1	12%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

富士・東部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は35,226人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は34人(13%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

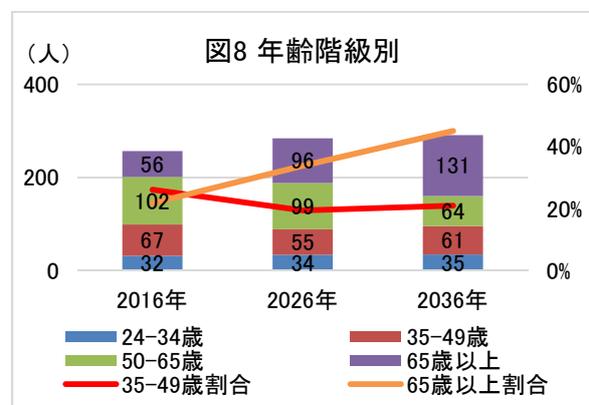
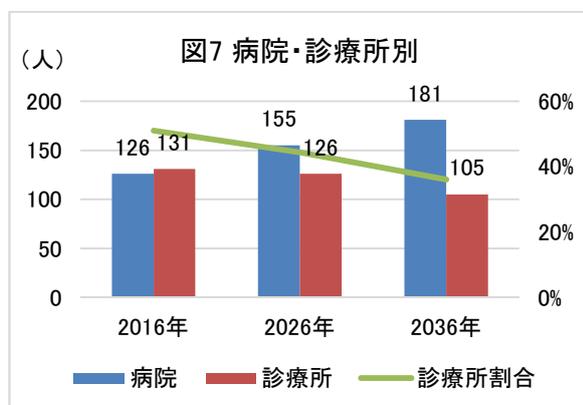
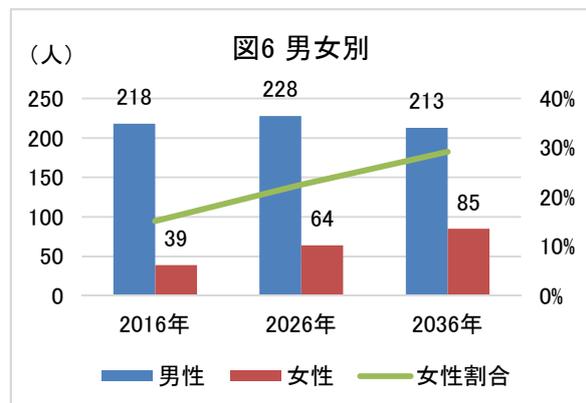
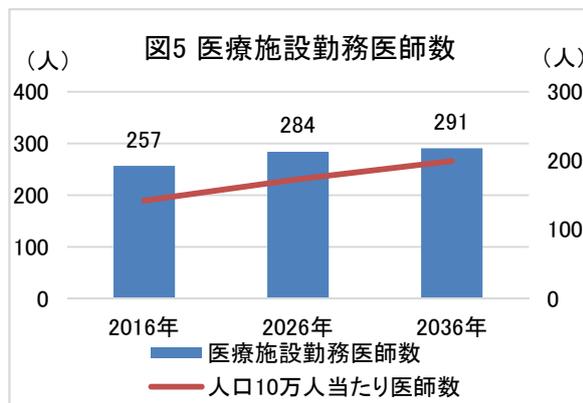
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて5人(-2%)減り、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に46人(118%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて55人(44%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に26人(-20%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(-9%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて75人(134%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年45%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



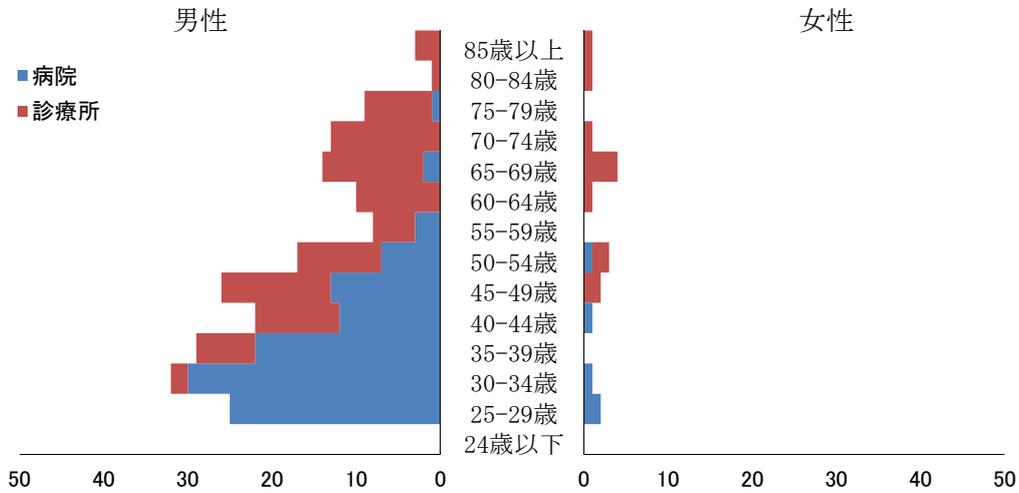
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士・東部医療圏

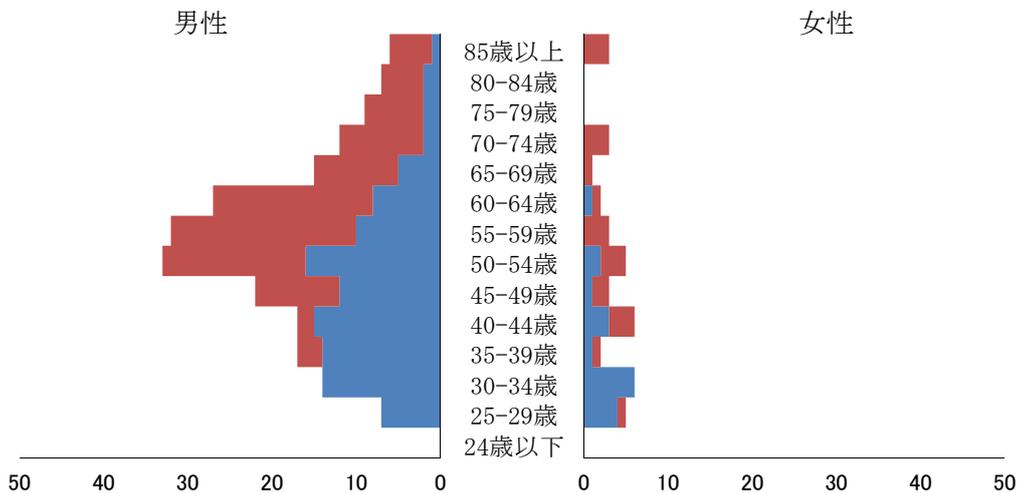
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

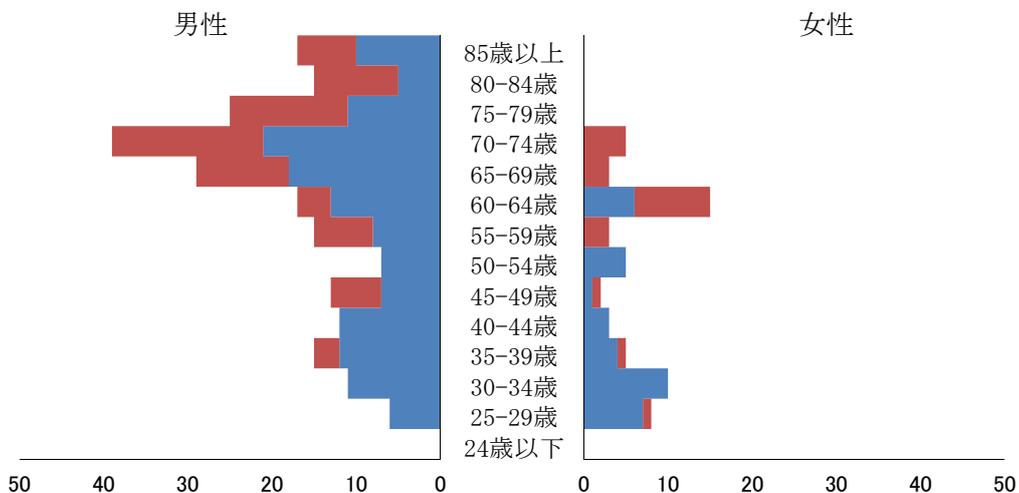
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

富士・東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	181,029	164,154	145,803	-35,226	-19%	-16,875	-9%	-18,351	-11%	
医療施設勤務医師数	257	284	291	34	13%	27	11%	7	2%	
人口10万対	142.0	173.0	199.6	57.6	41%	31.0	22%	26.6	15%	
男性医師数	218	228	213	-5	-2%	10	5%	-15	-7%	
人口10万対	120.4	138.9	146.1	25.7	21%	18.5	15%	7.2	5%	
女性医師数	39	64	85	46	118%	25	64%	21	33%	
人口10万対	21.5	39.0	58.3	36.8	171%	17.4	81%	19.3	50%	
病院勤務医師数	126	155	181	55	44%	29	23%	26	17%	
人口10万対	69.6	94.4	124.1	54.5	78%	24.8	36%	29.7	31%	
診療所勤務医師数	131	126	105	-26	-20%	-5	-4%	-21	-17%	
人口10万対	72.4	76.8	72.0	-0.3	0%	4.4	6%	-4.7	-6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	32	34	35	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	67	55	61	-6	-9%	-12	-18%	6	11%
	50-64歳	102	99	64	-38	-37%	-3	-3%	-35	-35%
	65歳以上	56	96	131	75	134%	40	71%	35	36%
	75歳以上(再掲)	25	32	56	31	124%	7	28%	24	75%
男性	24-34歳	21	22	17	-4	-19%	1	5%	-5	-23%
	35-49歳	56	40	37	-19	-34%	-16	-29%	-3	-8%
	50-64歳	92	81	47	-45	-49%	-11	-12%	-34	-42%
	65歳以上	49	85	112	63	129%	36	73%	27	32%
	75歳以上(再掲)	22	26	49	27	123%	4	18%	23	88%
女性	24-34歳	11	11	18	7	64%	0	0%	7	64%
	35-49歳	11	16	22	11	100%	5	45%	6	38%
	50-64歳	10	29	32	22	220%	19	190%	3	10%
	65歳以上	7	8	13	6	86%	1	14%	5	63%
	75歳以上(再掲)	3	3	0	-3	-100%	0	0%	-3	-100%
病院	24-34歳	31	33	34	3	10%	2	6%	1	3%
	35-49歳	46	40	43	-3	-7%	-6	-13%	3	8%
	50-64歳	37	47	34	-3	-8%	10	27%	-13	-28%
	65歳以上	12	35	70	58	483%	23	192%	35	100%
	75歳以上(再掲)	5	9	27	22	440%	4	80%	18	200%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	11	11	-10	-48%	-10	-48%	0	0%
	50-64歳	65	49	20	-45	-69%	-16	-25%	-29	-59%
	65歳以上	44	65	73	29	66%	21	48%	8	12%
	75歳以上(再掲)	20	24	36	16	80%	4	20%	12	50%
	85歳以上(再掲)	8	9	11	3	38%	1	13%	2	22%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)